



## オープンキャンパスで貴重書展 「高校生が知っている世界の有名な書物展」を 開催しました

本学図書館は、本学のオープンキャンパスの開催日に、貴重書展示会「高校生が知っている世界の有名な書物展 2006」を行いました。本学のオープンキャンパスは6月17日(土)から9月9日(土)までの間に合計5日間行われ、図書館もこの開催日にあわせて合計5回にわたり展示会を開いたものです。



会場となった第3閲覧室には、マーク・トウエインの『トム・ソーヤの冒険』をはじめ、ジョナサン・スウィフトの『ガリバー旅行記』、グリム兄弟の『グリム童話集』の稀観書を、また、国内のものでは杉田玄白らが翻訳した『解体新書』や福澤諭吉の『西洋事情』などの初版本を出展しました。

これらの書物は、見学した高校生にとって、教科書などで知った馴染みのあるものばかりで、初めて「出会った」本物の雰囲気を楽しんでいました。

## 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 現在進行中のプロジェクト 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

### 図書内容解説つき書誌データベースを作成しています

本学図書館は現在、所蔵している和書の解説付きデータベースを作っています。これは、今までに本誌GAIDAI BIBLIOTHECAの「Book Review Corner」をはじめ、書評や文献紹介のコーナーで作ってきた文章を活用して、カテゴリ

## 「生き方探究・チャレンジ体験」で中学生を受け 入れました

本学図書館は、6月12日(月)から16日(金)にかけて、京都市教育委員会が主催する「生き方探究・チャレンジ体験」に協力し、京都市内の中学生の職業・職場体験の場所として2名を受け入れました。



2名の中学生は、大学図書館の仕事やコンピュータ・ネットワークシステムについての説明を受けた後、児童文学図書の展示や資料検索と貸出・返却など図書館の業務を手伝い、利用に訪れた学生の皆さんに温かく接していただく中、明るく活発に5日間を過ごしました。(本誌12頁に関連記事)

### 本年度の現在(8月末)までの貸出冊数 昨年を上回っています

本学図書館が今年の4月1日から利用者に貸し出した図書の冊数は、8月31日現在で19,260冊となっています。これは、昨年と同じ期間の冊数を1,008冊上回る数値です。

一別に表示できるようにするものです。図書館では、約40年前から館員が作ってきた業績を集大成して、来年の学校法人京都外国語大学創立60周年の図書館における記念事業の一環として完成させたいと考えています。

なおこのデータベースの公開日は、来年の5月18日の創立記念日を予定しています。